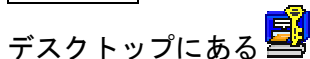


## 初期設定



デスクトップにあるをクリック

または【スタート】→【プログラム】→【FileGuard Mail】をクリックすると起動されますが  
**初回のみ**【ファイルガード・メール起動パスワードの設定】が表示されます。

「起動パスワード」はご自身でお決めになるものです。  
メモをするなど**絶対に忘れないように**してください。

「起動パスワード」はメール送信時の添付ファイル暗号化パスワード設定欄の守秘を兼ねています。(※13 ページ参照) 起動時に不要であれば【ツール】→【ファイルガード・メールの基本設定】→【オプション】で外せます。

「フォルダパス」と「メールボックス名」は  
任意に設定することも可能です。

**OK**を押す

(入力例)

(受信者が受信したメールに「差出人」として表示  
される「名前」と「メールアドレス」です)

**次へ**を押す。

(入力例)

接続業者から知らされたサーバ情報 4 箇所を入力  
して**次へ**を押す。  
(よく確認してください。**一箇所でも間違えると接続  
できません**)

接続情報を確認したら**次へ**を押す

独自ドメイン (例 mail@fgm.jp) を使用して送受信する場合、迷惑メール対策のために  
ご契約プロバイダによっては起動後に**設定変更の必要があります**。(※3 ページ参照)

接続情報

ポート番号(これは特別な場合以外、設定する必要はありません)

SMTPポート番号  POP3ポート番号

ユーザ認証方式

☒ 標準

☐ APOPで認証 (Niftyの方などはこちらにチェックを入れてください)

☐ POP before SMTP(プロバイダから指示のある場合チェックを入れてください)

接続

☒ LAN接続 (すでにインターネットに接続された環境で使う場合)

☐ ダイアルアップ

☒ 受信後に切断 ☐ 受信後に切断しない

通常は 25 ですが迷惑メール対策対応では 587  
 (独自ドメインを使用する場合は  
 SMTP ポート番号を 587 に変更または 25 のまま)  
 (※3 ページ参照)

**次へ**を押す。

受信設定

☒ **メールをサーバに残す**  
 ※受信したメールを削除せずにサーバに残します

☒ 未読メールのみダウンロード  
 ※サーバにあるメールのうち、既に受信したものは受信しません

☐ ダウンロードするメールサイズを制限する  
 KB以上のメールは受信しない

☒ ポストバケットからのメールは削除しない

IMAPディレクトリ

1台のパソコンだけでメール（アカウント）を使用  
 する場合は特に理由がない限り、メールをサーバに  
 残さないようにした方が良いでしょう。

他のパソコンでも同一アカウントを使用する場合  
 は、主に使用するパソコンの[メールをサーバに残  
 す]**チェックをはずし**、その他のパソコンにはチ  
 ャックを入れます。

**次へ**を押す。

(入力例)

アカウント名

この設定につける名前を入力してください。

\*アカウント名

ここで設定した名前がメーラーの左上の「アカウント」を選択するときの名前になります。

☒ 新着メールの自動受信に追加する

— 初期設定はここまで —

【ツール】→【アカウントの設定】(上図のアカウント名はここに入ります) FileGuard Mail 本体左ツリー部

アカウントの設定

アカウント名(A)

接続情報 | 受信設定 | 送信設定 | 作成設定

名前とアドレス

名前

メールアドレス

受信プロトコル(サーバの種類)

☒ POP3 ☐ IMAP4

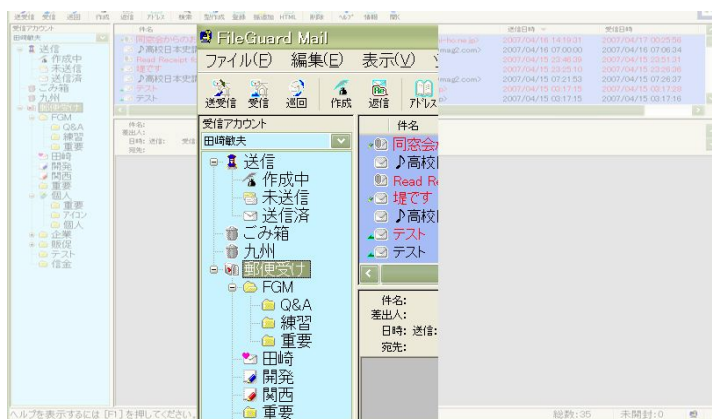
サーバの情報

POPサーバ名

SMTPサーバ名

ユーザ名

パスワード



設定は正しいのにメール送受信できない

ご契約のプロバイダで迷惑メール対策として始めた OP25B による影響ではないかと思われます。

ご契約プロバイダのドメインを使用せず独自ドメイン（例 mail@fgm.jp）を使用して送受信する場合に設定変更しなければならない場合があります）

接続できない場合、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。

アカウントの設定

田崎敏夫

ターニングソフト

アカウント名(A) ターニングソフト

アカウント情報 接続情報 受信設定 送信設定 作成設定

名前とアドレス

名前 ターニングソフト

メールアドレス mail@fgm.jp

受信プロトコル(サーバの種類)

☒ POP3 ☐ IMAP4

サーバの情報

POPサーバ名 mail.fgm.jp

SMTPサーバ名 c契約プロバイダのSMTPサーバー名

ユーザ名 mail#fgm.jp

パスワード \*\*\*\*\*

上へ 下へ

新規追加 コピー 更新 削除 閉じる

【アカウントの設定】を以下のように  
変更する必要があります。

【ツール】→【アカウントの設定】

| POP サーバ名 | 独自ドメインの POP サーバ名 |
|----------|------------------|
|          |                  |

**SMTP サーバ名**      ご契約プロバイダの  
SMTP サーバ名

**ユーザ名** 独自ドメインのユーザ名

**パスワード** 独自ドメインのメールパスワード

アカウントの設定

田崎敏夫

田崎

ターニングソフト

アカウント名(A) 田崎敏夫

アカウント情報

接続情報

受信設定

送信設定

作成設定

ポート番号

SMTPポート番号 587 POP3ポート番号 110

☐ SMTPS ☐ POP3

※SSL/TLSで暗号化して通信する場合は、送信はSMTPS  
受信は、POP3あるいはIMAPSをチェックします。

ユーザ認証方式

☒ 標準 ☐ APOPで認証

接続

☒ LAN接続 ☐ ダイアルアップ

☐ 受信信劇に切断 ☐ 受信信劇に切断しない

ダイアルアップのユーザ認証(ダイアルアップネットワー  
クの設定で保存されていない場合は指定してください)

ユーザ名 パスワード

サーバのタイムアウト 短い 長い

上へ

下へ

新規追加

コピー

更新

削除

閉じる

【接続情報】

SMTP ポート番号 (25) を (587) に変更  
または 25 のまま

### ※ Jcom での設定 （[SSL]を使用の場合）

**SMTPS**にチェックをいれて（465）に変更。

【アカウント情報】は Jcom 指定のまま。

【送信設定】はSMTP 認証を行うにチェック。

FileGuard Mail は[STATTLS]に対応しています。  
ポートは自由に指定できます。

アカウントの設定

田崎敏夫  
ターニンソフト

アカウント名(A) ターニンソフト

アカウント情報 接続情報 受信設定 送信設定 作成設定

☐ 送信者をBCCに追加

From のアドレスの表示

☐ Name <Address@xxxx>  
☐ Address@xxxx (Name)  
☐ Address@xxxx

☐ POP Before SMTP (送信前にPOPアカウントでログインする)

☐ ESMTPサーバを使用

☒ SMTP認証を行う

ユーザ名 契約プロバイダのユーザー名

パスワード 契約プロバイダのメールアドレス

※省略略はPOPアカウントと同じ

認証方法 ☒ LOGIN ☒ CRAM-MD5 ☒ PLAIN

指定のアドレスにBCCで送信

上へ 下へ 新規追加 コピー 更新 削除 閉じる

場合によっては  
チェックを入れる

チェックを入れる

場合によっては  
チェックをはずす

【送信設定】

SMTP 認証を行う にチェック

**ユーザ名**      ご契約プロバイダのユーザ名

**パスワード**    ご契約プロバイダのメール  
パスワード

## 認証方法

①LOGIN、CRAM-MD5、PLAIN の内  
CRAM-MD5のチェックを外す

または

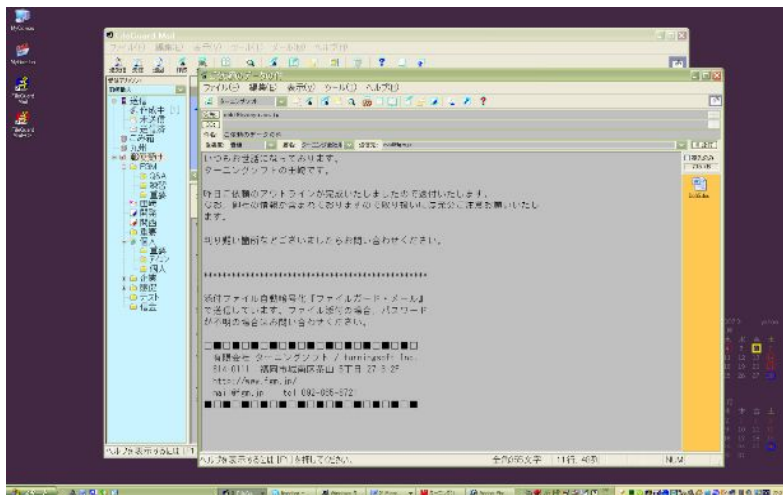
②他の箇所もチェックを入れる

※【ESMTP サーバを使用】にチェックを入れる場合もあるようです。

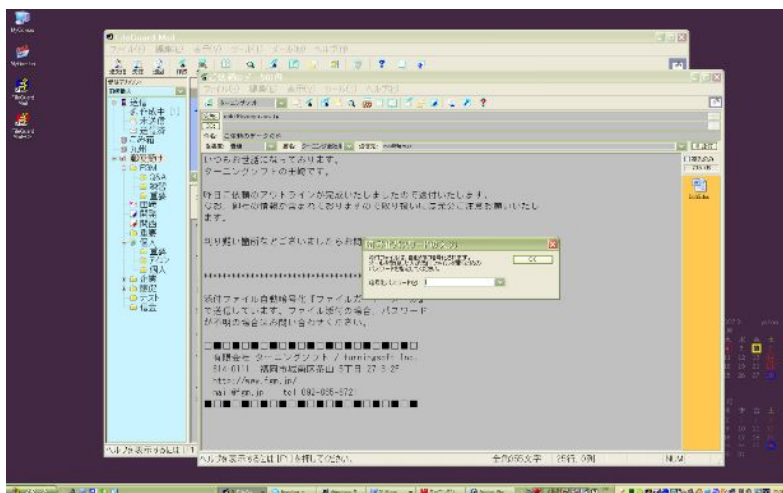
※ 「指定のアドレスに BCC で送信」欄が空白でなく「0」と表示されていれば削除します。

## 使用概略

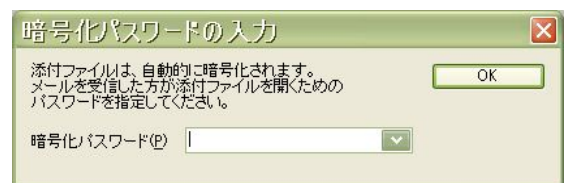
### 送信者側



送信メールに本文を記載して添付ファイルがある場合には添付します。

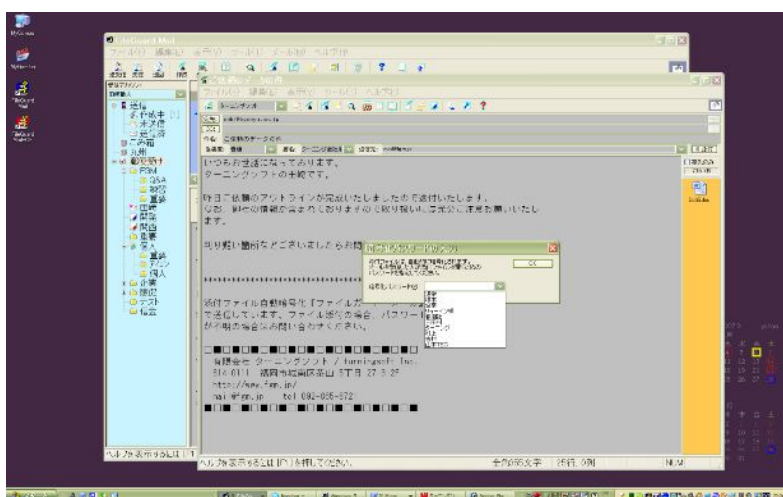


**特長**  **送信**を押すと**自動的に**添付ファイル暗号化パスワードが要求されます。



(送信先すべてに同じパスワードを使用する場合は、何も表示されずに自動的に暗号化されて送信されます)

(※ 暗号化しないで送信する場合や暗号化実対応の携帯電話に送信する場合は入力左上の  を押します)



図のように事前登録した送信先の暗号化パスワードをプルダウンから選択することもできます。

(※13 ページ参照)

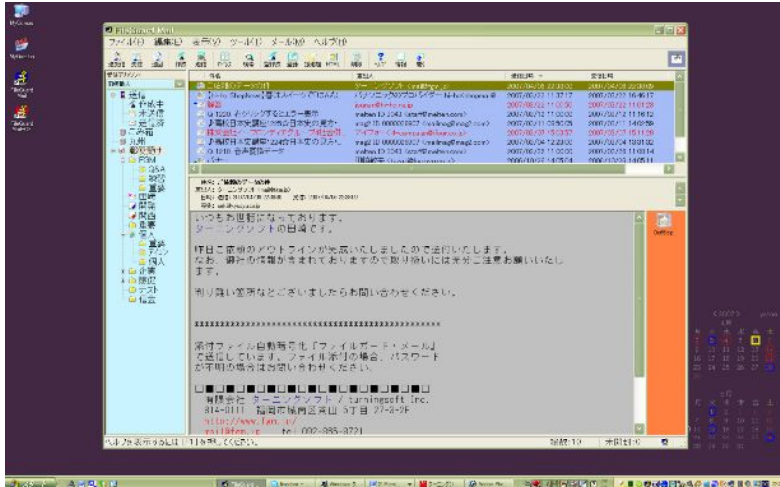
(パスワードを直接入力することもできます)

**OK**を押すと暗号化されて送信されます。



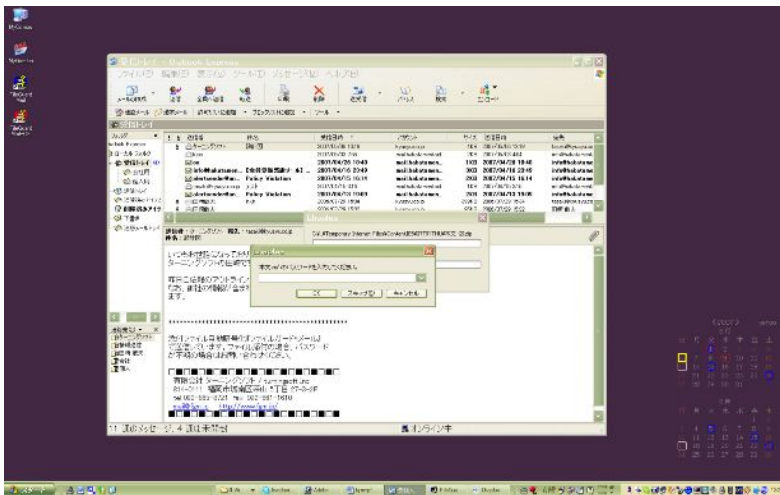
## 受信者側

**特長** 暗号化されて送信されて来た添付ファイルは **Outlook Express などのすべてのメールソフトで復号できます。** (Windows XP / Windows Vista 以外は解凍ソフトをインストール)

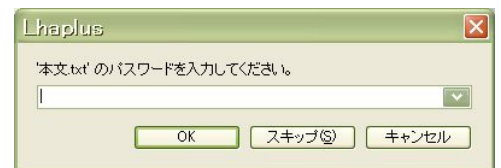


添付ファイル付のメールとして受信

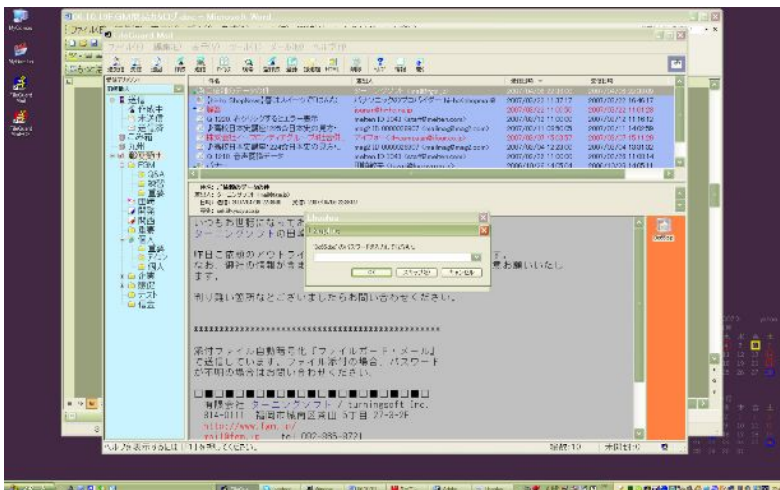
添付ファイルをクリックすると下図のようにパスワードを要求されます。



Outlook Express で受信した場合



パスワードを入力すると暗号化された添付ファイルが復号化（暗号解除）されて開きます。



FileGuard Mail で受信した場合も同様

※万一、うっかりミスなどで誤送信した場合、添付ファイルはパスワードを入力しないと見ることができません。FileGuard Mail は**防ぎようの無い【うっかりミスでの情報漏えい防止に対応できる】世界唯一のメールソフト**として高く評価されています。

**情報漏えい対策は最優先事項、根拠の無い安心は危険**です。即刻、FileGuard Mail の使用をお勧めいたします。

## 本文の暗号化

他のメールソフトの本文暗号化機能は受信者の本文欄に訳の分からない文字化け表示がなされ、ウイルスと勘違いされて削除される危険性が潜んでいました。

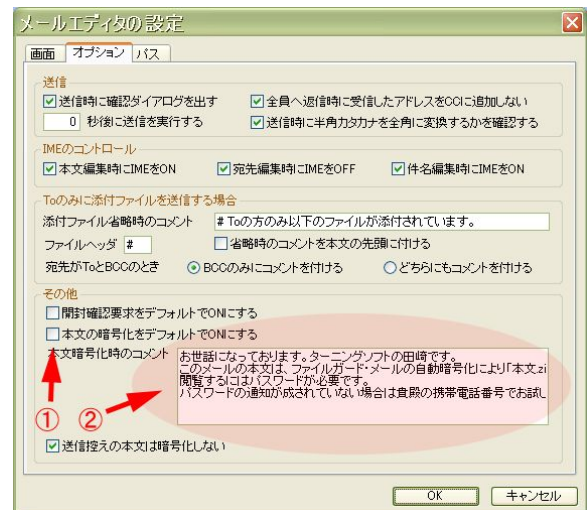
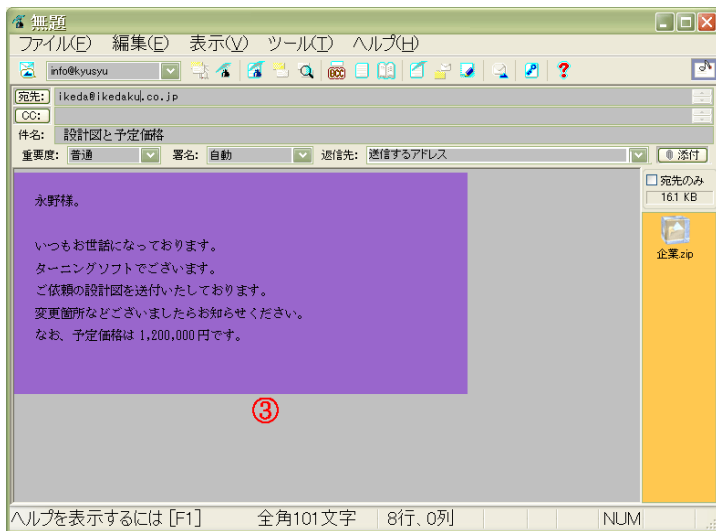
**大切なメールを削除されてしまっては通信手段の意味をなしません。**

**特長** 『本文を送信時に自動的に添付ファイルとし、受信者の本文欄には事前に入力した②→受信者に**ハッキリと読める日本語の文章を表示**する』ことで解決いたしました。  
なお、この文章（コメント）は送信者が自由に書き換えることもできます。

## 送信者側

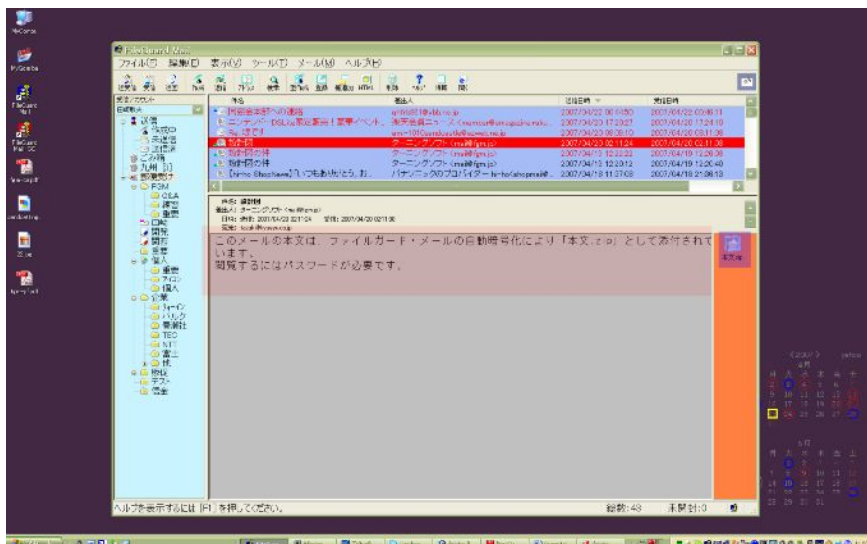
本文を送信の都度暗号化する場合は暗号化アイコンをクリックして送信を押します。  
また、①→【本文の暗号化をデフォルトでONにする】にチェックを入れると**送信するすべての本文を自動的に暗号化**します。（下段※1参照）  
《送信控えの本文は暗号化しない》にチェックを入れると送信済みフォルダの本文は暗号化されません。

下図右は【ツール】【メールエディタの設定】【オプション】



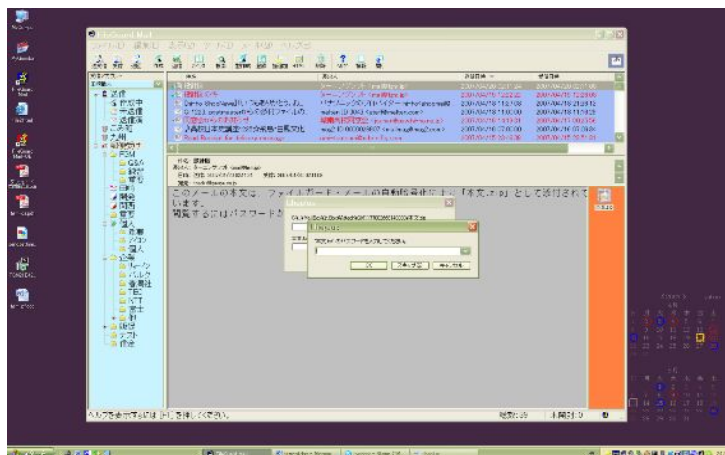
## 受信者側

受信者がメールを受信すると事前設定した②→コメントが自動的に本文欄に表示され



左上図③  内の本文は自動的に暗号化されて  
左図  の添付ファイルになっています。

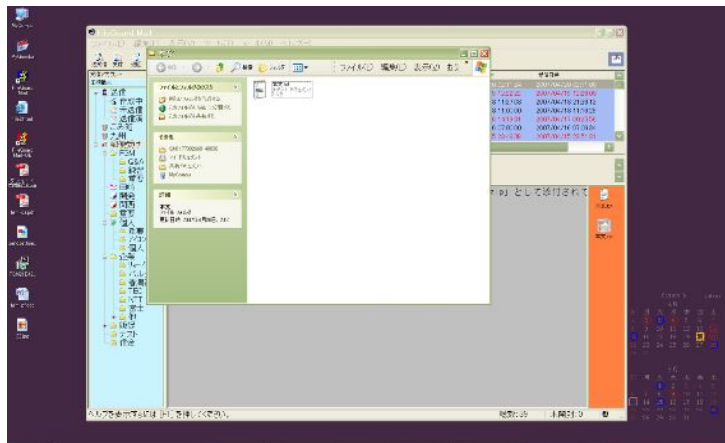
**※1** 最近、多くの企業が情報漏えい対策として取引先に要請している。  
『内容はメール本文ではなく別にWordなどで記述し、パスワード保護を行って、添付ファイルとして送信』などの面倒な作業は一切必要なく、企業信頼度は飛躍的にアップします。



※（本文は受信者がハッキリと読める日本語の文章です。ウイルスと勘違いされることはありません）

添付アイコンをクリックすると  
①パスワードの入力欄が表示されます。

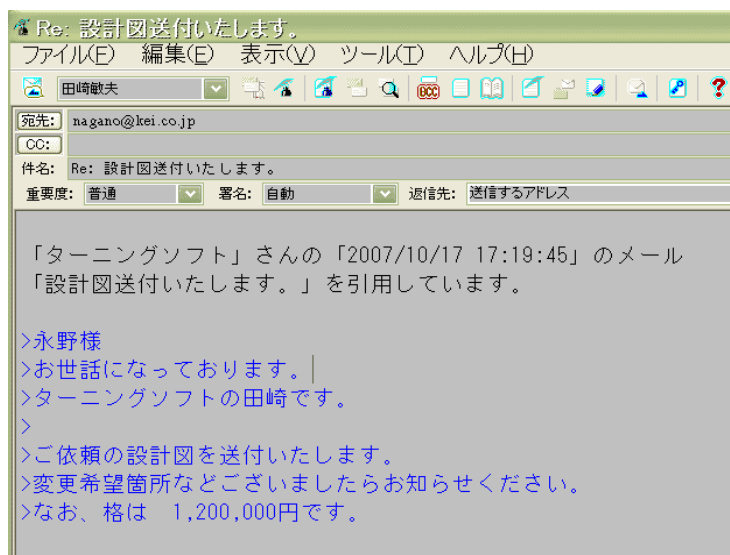
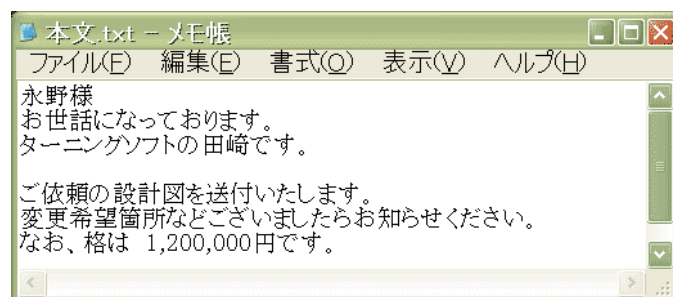
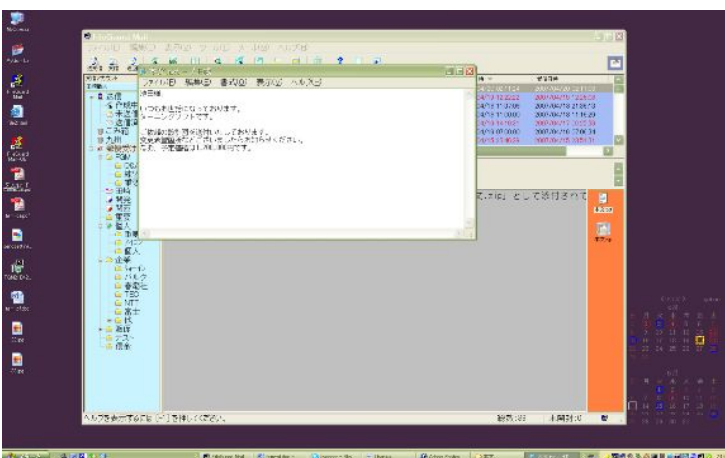
（解凍ソフトにより差異があります）



パスワードを入力するとメモ帳などで開きます。

をクリックすると  
本文が開きます。（下図）

本文を秘密保持する必要がある場合は本文を読んだ後に添付ファイル欄のを削除すると本文は暗号化された状態で保存されます。



受信した本文を利用して送信者に返信する場合

- ①上図の本文文章をコピーして、
- ②返信メールの貼り付ける箇所をクリック後
- ③ **Ctrl** + **R** でまたは
- ② ツールバーの【編集】→
- ③ 【参照貼り付け】で右図のように **>**（引用符）付になります。

本文暗号化を知らせる着信文面は削除

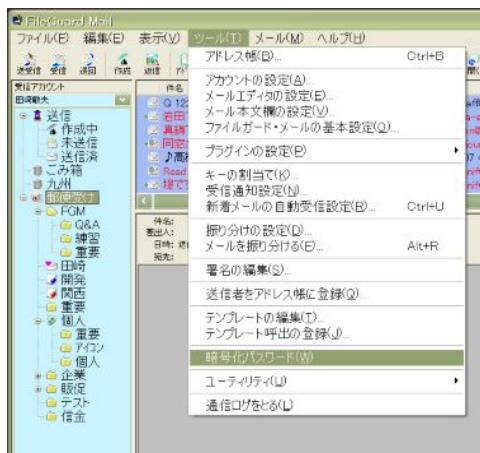


## 特長 添付ファイル自動暗号化パスワード事前登録

受信者が日常的に使用しているパスワードを事前に登録しておくことで受信者がパスワード覚えやすいので便利です。

登録するには【ツール】→【暗号化パスワード】をクリックすると③起動パスワード入力欄が表示されます。

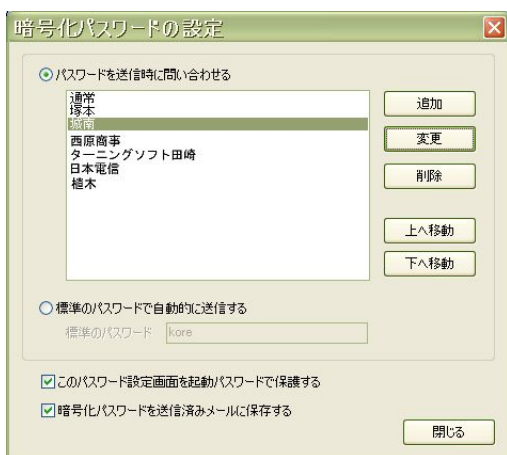
(暗号化パスワードの設定欄は起動パスワードと同一パスワードで守られています)



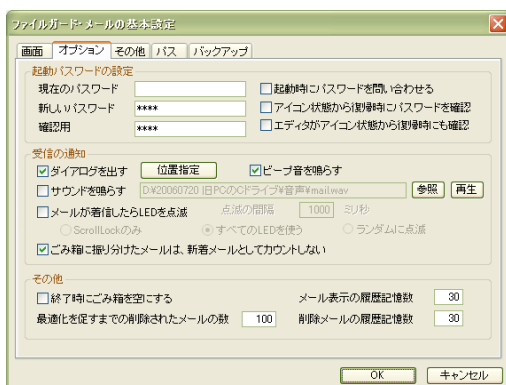
(③と参考下図①②のパスワードは同一です)

入力すると下図が開きます。

受信者の暗号化パスワードを新規登録する場合追加で下図右が開きます。



参考 暗号化パスワード設定欄を守秘するパスワードは[起動パスワード]と共用しています。下図は【ツール】→【ファイルガード・メールの基本設定】→【オプション】



ここで設定しているパスワードは①②上期③の共通パスワードです。